

大学番号：国037

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

富山大学大学院 理工学教育部修士課程生命工学専攻、  
環境応用化学専攻及び材料機能工学専攻

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 富山大学  
平成25年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務部企画評価グループ

職名・氏名 グループ長 ヒライシ 平石 フリオシ 憲良

電話番号 076-445-6240

（夜間） 076-445-6240

F A X 076-445-6244

e-mail sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	6
3	施設・設備の整備状況、経費	15
4	既設大学等の状況	16
5	教員組織の状況	20
6	留意事項に対する履行状況等	26
7	その他全般的事項	27

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 富山大学

## (2) 大学名

富山大学

## (3) 大学の位置

〒930-8555  
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学教育部 生命工学専攻(修士課程) 修士(工学)	2年	18人	36人	基礎となる学部等  工学部
環境応用化学専攻(修士課程) 修士(工学)	2	22	44	
材料機能工学専攻(修士課程) 修士(工学)	2	20	40	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

理工学教育部 生命工学専攻(修士課程)

区分	報告年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	平成24年度	平成25年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	18人 18 ( - ) [ - ]	-人 18 ( - ) [ - ]	18人 18 ( - ) [ - ]		0.80倍	
志願者数	24 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	20 ( - ) [ 1 ]			
受験者数	22 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	15 ( - ) [ 1 ]			
合格者数	22 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	15 ( - ) [ 1 ]			
B 入学者数	18 ( - ) [ 2 ]	0 ( - ) [ - ]	11 ( - ) [ 1 ]			
入学定員超過率 B/A	1.00		0.61			

理工学教育部 環境応用化学専攻（修士課程）

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	22人 22 ( - ) [ - ]	- 人 - ( - ) [ - ]	22人 22 ( - ) [ - ]	- 人 - ( - ) [ - ]	0.84倍			
志願者数	16 ( - ) [ 1 ]	1 ( - ) [ - ]	25 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
受験者数	15 ( - ) [ - ]	1 ( - ) [ - ]	25 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
合格者数	14 ( - ) [ - ]	1 ( - ) [ - ]	25 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
B 入学者数	12 ( - ) [ - ]	1 ( - ) [ - ]	24 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	0.59		1.09					

理工学教育部 材料機能工学専攻（修士課程）

区分	報告年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	20人 20 ( - ) [ - ]	- 人 - ( - ) [ - ]	20人 20 ( - ) [ - ]	- 人 - ( - ) [ - ]	1.50倍			
志願者数	32 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	33 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
受験者数	32 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	32 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
合格者数	32 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	32 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
B 入学者数	28 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	32 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]				
入学定員超過率 B/A	1.40		1.60					

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 「社会人」については、設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
  - ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

理工学教育部 生命工学専攻（修士課程）

学 年	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 2 ] 18	[ - ] 0	[ 1 ] 11	[ - ] 0	
2年次	/		[ 1 ] 16	[ - ] 0	
3年次	/		/		
計	[ 2 ] 18		[ 2 ] 27		

理工学教育部 環境応用化学専攻（修士課程）

学 年	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 12	[ - ] 1	[ - ] 24	[ - ] 1	平成24年度におけるその他の学期入学者（10月入学）を、今年度調査にて追記した。 なお、平成24年10月入学者は、平成25年5月1日現在1年次に在籍している。
2年次	/		[ - ] 12	[ - ] 0	
3年次	/		/		
計	[ - ] 13		[ - ] 37		

理工学教育部 材料機能工学専攻（修士課程）

学 年	平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 28	[ - ] 0	[ - ] 32	[ - ] 0	
2年次	/		[ - ] 27	[ - ] 0	
3年次	/		/		
計	[ - ] 28		[ - ] 59		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。



## 2 授業科目の概要

<理工学教育部 生命工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	分子生物学特論	1前		2		1						
	放射線生物学特論	1後		2			1					
	遺伝子工学特論	1後 1前 1後		2			0 1					開講学期の変更 (24) 開講学期の変更 (25) 転出による変更 (後任選考中) (25)
	代謝工学特論	1前		2				1				
	生体情報工学特論	1前 1後		2		1						開講学期の変更 (24)
	神経システム特論	1後		2		1						
	医療生命工学特論	1前		2		1						
	生体材料工学特論	1後		2		1						
	生物反応工学特論	1後		2			1					
	生物分析化学特論	1後 1前		2		1						開講学期の変更 (24)
	化学工学特論	1前 1後		2			1					開講学期の変更 (24)
	生命有機化学特論	1前		2		1						
	プロセスシステム工学特論	1前		2			1					
	生命工学特別講義	1前・後		4								兼 1 開講科目への教員配置 (24)
	生命工学特別ゼミナール	1通		4		6 7	4 5	1	2			退職による変更 (24) 転出による変更 (後任選考中) (25)
	生命工学特別演習 I	1通	2			6 7	4 5	1	2			退職による変更 (24) 転出による変更 (後任選考中) (25)
	生命工学特別演習 II	1通	2			6 7	4 5	1	2			退職による変更 (24) 転出による変更 (後任選考中) (25)
	生命工学特別演習 III	1通		2		6 7	4 5	1	2			退職による変更 (24) 転出による変更 (後任選考中) (25)
	生命工学特別研究	1通	10			6 7	4					退職による変更 (24)
	インターンシップ I	1前		1		1						
インターンシップ II	1前		1		1							
知財特論	1後		2								兼 1	
実践教育特別講義	1後・2前		4								兼 3 開講科目への教員配置 (24)	



- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 20	科目 0	科目 23	科目 3	科目 20	科目 0	科目 23	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<理工学教育部 環境応用化学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	触媒と表面科学特論	1前		2		1						
	有機反応制御化学特論	1前		2			1	1				昇任による変更 (25)
	ヘテロ原子有機反応特論	1後		2		1						
	有機工業化学特論	1後		2			1					
	分子固体物性特論	1後		2			1					
	錯体反応化学特論	1前		2		1						
	電気分析化学特論	1前		2		1						
	環境分析化学特論	1後		2		1	1					昇任による変更 (25)
	生体高分子界面化学特論	1後		2		1						
	コロイド・界面化学特論	1前		2			1					
	生物有機化学特論	1前 -1後		2			1					開講学期の変更 (24)
	創薬工学特論	1後		2		1						
	環境応用化学特別講義	1前・後		4								兼 1 開講科目への教員配置 (24)
	環境応用化学特別ゼミナール	1通		4		7	6 -4	0	1			昇任による変更 (24) 教員配置の変更 (24) 昇任による変更 (25)
	環境応用化学特別演習 I	1通	2			7	6 -4	0	1			昇任による変更 (24) 教員配置の変更 (24) 昇任による変更 (25)
	環境応用化学特別演習 II	1通	2			7	6 -4	0	1			昇任による変更 (24) 教員配置の変更 (24) 昇任による変更 (25)
	環境応用化学特別演習 III	1通		2		7	6 -4	0	1			昇任による変更 (24) 教員配置の変更 (24) 昇任による変更 (25)
	環境応用化学特別研究	1通	10			7	5 3					昇任による変更 (24) 教育体制充実のための追加 (25)
	インターンシップ I	1前		1		1						
	インターンシップ II	1前		1		1						
知財特論	1後		2								兼 1	
実践教育特別講義	1後・2前		4								兼 3 開講科目への教員配置 (24)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	19	0	22	3	19	0	22	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<理工学教育部 材料機能工学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	材料プロセス工学特論	1前		2		1	2					教員体制充実のため教員の追加 (24)
	反応制御工学特論	1後		2		1	1					兼 1 教員体制充実のため教員の追加 (24)
	素形制御工学特論	1後 1前		2			2 1					開講学期の変更 (24) 教育体制充実のため教員の追加 (25)
	組織制御工学特論	1前		2		1						
	機能制御工学特論	1後		2		2						
	環境制御工学特論	1後		2		1						
	物性制御工学特論	1前		2		1	1					兼 1 教育体制充実のための追加 (25)
	表面制御工学特論	1前 1後		2		1						兼 1 開講学期の変更 (24)
	材料機能工学特別講義	1前・後		4								兼 1 開講科目への教員配置 (24)
	材料機能工学特別ゼミナール	1通				8	6		2			教員体制充実のため教員の追加 (24) 教員配置の変更 (24) 教育体制充実のため教員の追加及び退職による変更 (25)
	材料機能工学特別演習 I	1通				8	6		2			教員体制充実のため教員の追加 (24) 教員配置の変更 (24) 教育体制充実のため教員の追加及び退職による変更 (25)
			2			7	6		3			
	材料機能工学特別演習 II	1通				8	6		2			教員体制充実のため教員の追加 (24) 教員配置の変更 (24) 教育体制充実のため教員の追加及び退職による変更 (25)
			2			7	6		3			
	材料機能工学特別演習 III	1通				8	6		2			教員体制充実のため教員の追加 (24) 教員配置の変更 (24) 教育体制充実のため教員の追加及び退職による変更 (25)
			2			7	6		3			
	材料機能工学特別研究	1通		4		8	5					教員体制充実のため教員の追加 (24) 教員配置の変更 (24)
		4			7	6						
インターンシップ I	1前		1		1							
インターンシップ II	1前		1		1							
知財特論	1後		2								兼 1	
実践教育特別講義	1後・2前		4								兼 3 開講科目への教員配置 (24)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

## (2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	15	0	18	3	15	0	18	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )	m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		(例) 平成25年4月 専任教授1名を新規 採用のため(25)		
		〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		m <sup>2</sup>						
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m <sup>2</sup>						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定員	取 定 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部			3年次			1.02	昭和52	富山市五福3190番地	
人文学科	4	185	7	740	学士(文学)	1.02	昭和52		収容定員における編入 学者数は、学部計に含 める
計		185	14	754					
人間発達科学部						1.02	平成17	富山市五福3190番地	
発達教育学科	4	80	-	320	学士(教育学)	1.03	平成17		
人間環境システム学科	4	90	-	360	学士(教育学)	1.01	平成17		
計		170	-	680					
経済学部						1.04	昭和28	富山市五福3190番地	
(昼間主コース)									
経済学科	4	135	3年次	540	学士(経済学)	1.03	昭和28		
経営学科	4	115		460	学士(経営学)	1.02	昭和49		
経営法学科	4	95		380	学士(法学)	1.03	昭和54		
(夜間主コース)			10						
経済学科	4	20	(各学 科共 通)	80	学士(経済学)	1.08	昭和61		
経営学科	4	20		80	学士(経営学)	1.11	昭和61		
経営法学科	4	20		80	学士(法学)	1.07	昭和61		
計		405	20	1,640					収容定員における編入 学者数は、学部計に含 める
理学部						1.05	昭和52	富山市五福3190番地	
数学科	4	50	3年次	200	学士(理学)	1.04	昭和52		
物理学科	4	40		160	学士(理学)	1.06	昭和52		
化学科	4	35		4	140	学士(理学)	1.03	昭和52	
生物学科	4	35	(各学 科共 通)	140	学士(理学)	1.09	昭和52		
地球科学科	4	40		160	学士(理学)	1.00	昭和52		
生物圏環境科学科	4	30		120	学士(理学)	1.12	平成5		
計		230	8	928					収容定員における編入 学者数は、学部計に含 める
医学部							昭和50	富山市杉谷2630番地	
医学科	6	105	2年次5	610	学士(医学)	1.00	昭和50		医学科の入学生定員につ いて平成21年度には定 員を90→100に、平成 22年度には100→105に 変更
看護学科	4	80	3年次10	320	学士(看護学)	1.01	平成5		
計		185	45	975					医学科入学生定員のうち、5 人は「緊急医師確保対 策」に基づき、平成29年度 までの措置  収容定員における編入 学者数は、学部計に含 める

薬学部									昭和24	富山市杉谷2630番地	
薬学科	6	55	-	330	学士(薬学)	1.03			平成18		
創薬科学科	4	50	-	200	学士(薬科学)	1.04			平成18		
計		105	-	530							
工学部									1.05	昭和24	富山市五福3190番地
電気電子システム工学科	4	88	3年次 (各学 科共 通)	352	学士(工学)	1.06			平成9		
知能情報工学科	4	72		288	学士(工学)	1.03			平成9		
機械知能システム工学科	4	90		20	360	学士(工学)	1.11		平成9		
生命工学科	4	52		208	学士(工学)	1.03			平成20		
環境応用化学科	4	52		208	学士(工学)	1.02			平成20		
材料機能工学科	4	51		204	学士(工学)	1.01			平成20		
物質生命システム工学科	4	-	-	-		-					平成20年より学生募集 停止 収容定員における編入 学者数は、学部計に含 める
計		405	40	1,660							
芸術文化学部									1.06	平成17	高岡市二上町180番地
芸術文化学科	4	115	-	460	学士(芸術文化学)	1.06			平成17		
計		115	-	460							
人文科学研究科 (修士課程)									0.93	昭和61	富山市五福3190番地
人文科学専攻	2	8	-	16	修士(文学)	0.93			平成23		
文化構造研究専攻	2	-	-	-	修士(文学)	-			平成9		平成23年より学生募集 停止
計		8	-	16							
人間発達科学研究科 (修士課程)									0.82	平成23	富山市五福3190番地
発達教育専攻	2	13	-	26	修士(教育学)	0.61			平成23		
発達環境専攻	2	13	-	26	修士(教育学)	1.03			平成23		
計		26	-	52							
教育学研究科 (修士課程)									平成6	富山市五福3190番地	
教科教育専攻	2	-	-	-	修士(教育学)	-			平成6		平成23年より学生募集 停止
経済学研究科 (修士課程)									0.97	平成3	富山市五福3190番地
地域・経済政策専攻	2	6	-	12	修士(経済学)	1.00			平成3		
企業経営専攻	2	12	-	24	修士(経営学)	0.95			平成3		
計		18	-	36							

芸術文化科学研究科 (修士課程)						1.18	平成23	高岡市二上町180番地	
芸術文化化学専攻	2	8	-	16	修士(芸術文化化学)	1.18	平成23		
計		8	-	16					
生命融合科学教育部 (博士課程)						0.77	平成18	富山市五福3190番地	
認知・情動脳科学専攻	4	9	-	36	博士(医学)	0.77	平成18		
生体情報システム科学専攻	3	4	-	12	博士(薬科学、理学又は工学)	0.75	平成18		
先端ナノ・バイオ科学専攻	3	4	-	12	博士(薬科学、理学又は工学)	0.58	平成18		
計		17	-	60					
医学薬学教育部 (修士課程)						0.88	平成18	富山市杉谷2630番地	
医科学専攻	2	15	-	30	修士(医科学)	0.70	平成18		
看護学専攻	2	16	-	32	修士(看護学)	0.71	平成18		
計		31	-	62					
(博士前期課程)									
薬科学専攻	2	35	-	70	修士(薬科学)	1.09	平成22		
計		35	-	70					
(博士後期課程)									
薬科学専攻	3	8	-	16	博士(薬科学)	1.81	平成24		
計		8	-	16					
(博士課程)									
生命・臨床医学専攻	4	18	-	72	博士(医学)	1.01	平成18		
東西統合医学専攻	4	7	-	28	博士(医学)	0.64	平成18		
薬学専攻	4	4	-	8	博士(薬学)	0.62	平成24		
生命薬科学専攻	3	-	-	-	博士(薬学)	-	平成18		平成24年より学生募集停止
計		103	-	256					
医学系研究科 (博士課程)							昭和57	富山市杉谷2630番地	
医科学専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	平成16		平成18年より学生募集停止
理工学教育部 (修士課程)						1.02	平成18	富山市五福3190番地	
数学専攻	2	8	-	16	修士(理学)	0.81	平成18		
物理学専攻	2	12	-	24	修士(理学)	0.83	平成18		
化学専攻	2	12	-	24	修士(理学)	0.87	平成18		
生物学専攻	2	12	-	24	修士(理学)	1.08	平成18		
地球科学専攻	2	10	-	20	修士(理学)	1.10	平成18		
生物圏環境科学専攻	2	10	-	20	修士(理学)	1.55	平成18		
電気電子システム工学専攻	2	33	-	66	修士(工学)	1.11	平成18		

知能情報工学専攻	2	27	-	54	修士（工学）	1.22	平成18	
機械知能システム工学専攻	2	33	-	66	修士（工学）	1.13	平成18	
生命工学専攻	2	18	-	36	修士（工学）	0.80	平成24	
環境応用化学専攻	2	22	-	44	修士（工学）	0.84	平成24	
材料機能工学専攻	2	20	-	40	修士（工学）	1.50	平成24	
物質生命システム工学専攻	2	-	-	-	修士（工学）	-	平成18	平成24年より学生募集停止
計		217	-	434				
（博士課程）								
数理・ヒューマンシステム科学専攻	3	5	-	15	博士（理学又は工学）	1.60	平成18	
ナノ新機能物質科学専攻	3	4	-	14	博士（理学又は工学）	1.16	平成18	平成24年から入学定員を6→4に変更
新エネルギー科学専攻	3	3	-	11	博士（理学又は工学）	0.95	平成18	平成24年から入学定員を5→3に変更
地球生命環境科学専攻	3	4	-	13	博士（理学又は工学）	1.01	平成18	平成24年から入学定員を5→4に変更
計		16	-	53				
理工学研究科								
（博士課程）								
生命環境科学専攻	3	-	-	-	博士（理学又は工学）	-	平成10	平成18年より学生募集停止
							富山市五福3190番地	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学教育部 生命工学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成25年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、**当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
11	4	15	10	3	13	65	0
( 10 )	( 4 )	( 14 )	[ Δ1 ]	[ Δ1 ]	[ Δ2 ]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 5 教員組織の状況

<理工学教育部 環境応用化学専攻（修士課程）>

### (1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻（〇〇課程）〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成25年5月1日現在の満年齢**を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。  
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、**当該項目を記載する必要はありません。**

### (2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導 補助教員	計	研究指導教員	研究指導 補助教員	計	教員の 定年年齢	定年を延長 している教員数
10	5	15	12	2	14	65	0
( 10 )	( 5 )	( 15 )	[ 2 ]	[ Δ3 ]	[ Δ1 ]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。  
(意見伺いで設置された学部学科等のみ。)
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学部等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<理工学教育部 生命工学専攻（修士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例） ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況（教員の参加状況含む）  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等	
--	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成25年 7月 1日 )

## 7 その他全般的事項

<理工学教育部 環境応用化学専攻（修士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例） ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況（教員の参加状況含む）  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等	
--	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	( <input checked="" type="radio"/> 有      ・      無      )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成25年 7月 1日 )



## 7 その他全般的事項

<理工学教育部 材料機能工学専攻（修士課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業方法について研究会</li> <li>・ 教員相互の授業参観</li> <li>・ 新任教員のための研修会 等</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>		/	
--	--	---	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成25年 7月 1日 )